

(1)

イタリヤ休戦条約および平和条約
閣僚外交文書

62 21.3

資料

昭和二十一年三月

伊太利休戰條約及平和條約關係外交文書

條約局長殿

條約局法規課

0041

0040

本資料ハG三Q提供ノUSG公報ニ據レリ
 伊太利休戰條約關係外交文書ハ容年十一月米英伊各國政府ヨリ
 時發表セラレタリ右外交文書ハ休戰條約及平和條約豫備交渉タル
 交換公文ヲ含ミ左ノ十種ナリ
 (一) 原休戰條約
 (二) 休戰條約追加條件
 (三) 右追加休戰條約署名ニ際シ「アイゼンハワ」大將ヨリ「バド
 リオ」元帥ニ宛テタル書翰
 (四) 「アイゼンハワ」大將ヨリ「バド
 リオ」元帥ニ宛テタル書翰
 (五) 伊太利海軍及商船隊ノ使用及處分ニ關スル聯合軍總司令官ヲ
 代表スル聯合軍地中海方面總司令官ト伊太利海軍大臣トノ間
 ノ協定書
 (六) 右協定書
 (七) 聯合國委員會議長ヨリ伊太利政府ニ送スル千九百四十五年二
 月二十日ノ電
 (八) 追加休戰條約ニ關スル註釋
 (九) 伊太利海軍大臣「カニンガム」ト「ドク
 ル」トノ協定ニ關スル註釋
 (十) 伊太利平和條約ニ關スル交換公文

1

I 伊太利首相ヨリ「トルーマン」大統領宛書翰
 II 「トルーマン」大統領ヨリ伊太利首相宛書翰
 III 伊太利外相「ガスベリ」ヨリ國務長官宛書翰
 IV 國務長官ヨリ伊太利外相「ガスベリ」ニ宛テタル書翰
 V 伊太利ハ聯合國對獨戰遂行ニ於テ最初ニ懸斷陣營ヨリ脫
 落シ聯合國ノ對獨戰遂行ニ協力セル關係上、休戰條約ノ内容モ
 聯合國ノ作戦遂行ヲ主眼トシテ決定セラレタリ
 VI 原休戰條約ハ聯合國ニ對スル降伏ノ軍事條約ノ原形ヲ規定セルニ
 シ、追加條約ハ石中争の停戦ヲ實現シ、伊太利領域ノ特定地ノ占領及占領
 下ノ行政機關ニ對スル政治的權利の回復ヲ規定セルモノナリ
 VII 原休戰條約ハ千九百四十三年九月三日「シンシリー」島ニ於テ米
 英兩國政府ノ權威ヲ代表スル聯合軍司令官代理參謀長「スミス」
 少將及伊太利政府首席代表「カステラ」准將ニヨリ署名セラレ
 タルニ對シ追加條約ハ四月二十九日「マルタ」島ニ於テ米英
 「ソ」三國政府ヲ代表スル聯合軍總司令官「アイゼンハワト」大
 將及伊太利政府首席代表「パドリオ」元帥ニヨリ署名セラレ「カサ
 ランカ」方式ノ植植和條件ニヨリ「無條件ニ受諾」スト規
 定セラレタリ
 VIII 第三文書ハ右追加休戰條約締結ノ趣旨ヲ記述セルモノナリ第四
 乃至第六文書ハ聯合國ノ作戦遂行上ノ伊太利海軍及商船隊ノ使用

及處分ニ關スル協定ニシテ專ラ軍事的性質ヲ有スルモノナレハ以
 下ノ譯文ニ於テ之ヲ省略セリ
 第七文書ハ對獨戰終結ノ目標ノ下ニ聯合國ニヨル管理ヲ緩和
 シ伊太利政府ノ主權ヲ内政及外交ノ兩面ニ於テ次第ニ回復セシメ
 尙作戦上必要ナル限度ニ於テノ施設ヲ管理センコトヲ規定セル
 モノナリ、右ハ主權ヲ制限セラレ居ル我國ノ將來ニ於ケル國權同
 復過程ノ參考タル價值アリ
 第八文書及第九文書ハ千九百四十三年九月二十九日ノ追加休戰
 條約及同年九月二十七日及十一月七日ノ伊太利海軍使用ニ關スル
 協定ノ實施狀況ヲ各條ニシテ説明シ、本文書發表當時ニ於ケル履行ノ段階ヲ説明シ
 ルモノニシテ以下ノ譯文ニ於テハ之ヲ省略セリ
 第十文書ハ客年九月ノ倫敦外相理事會直前、其主要議題ノ一タ
 ル伊太利平和條約準備ニ關シ、伊太利首相及外相ヨリ平和條約
 ニ對スル伊太利政府及國民ノ熱烈ナル希望ヲ米國大統領及國務長
 官ニ對シ表明セル書翰及之ニ對スル大統領及國務長官ノ米國政府
 ノ見解ヲ表明セル返信ナリ
 右ハ對日平和條約ノ締結カ近キ將來ニ豫想セラルル際我
 國ノ希望表明ニ對スル具體的希望事項ノ譯文ハ之ヲ省略セリ

伊太利休戰條約關係外交文書

千九百四十五年十一月六日
於華府倫敦羅馬同時發表

一其、一 原休戰條約

左記、合衆國政府及英國政府、連成ニ基キ聯合國ノ利益ヲ代表シ
テ行動スル聯合國軍總司令官
「ドワイ、ト、テイ、アイゼンハワー」大將
「ビエ、ロ、バドリオ」元帥

受テセル休戰條件アリ

一 伊太利、其ノ一切ノ敵對行為、即時停止セシムルコト

二 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

三 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

四 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

五 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

六 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

七 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

八 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

九 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十一 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十二 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十三 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十四 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十五 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十六 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十七 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十八 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

十九 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

二十 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

二十一 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

二十二 伊太利、其ノ一切ノ對シテ使用サルコトアルベキ施設ヲ廢止スルコト

本休戰條約ノ諸條件ハ聯合軍總司令部ノ與前ノ承諾ナク
公表スルコトヲ得ス莫クテ以テ條約正文トス

「ビエトロ、パドリオ」元帥 伊太利政府主席
「ドワイト、デイ、アイゼンハワー」

代理「ジュゼッペ、カステラノ」 米國陸軍大將聯合軍總司令部

代理「ヴァールター、ビー、スミス」 伊太利軍司令部付准將

陪席 「ハロルド、マツクミン」 聯合軍司令部付參謀長
「ロバート、マクワイ」 米國大總統私的代理、「ロバート、

「イック」 米國海軍准將地中海方面軍參謀長、「ラウレル、

「ブリュ、ルツクス」 米國陸軍少將聯合軍司令部付參謀長
「副長、フランソワ、ギンタナリ」 伊太利通譯官、「クニイ

「ストロンク」 陸軍准將聯合軍總司令部情報參謀副長

(其二) 伊太利休戰條約追加條件

千九百四十三年九月二十九日於「マルタ」島署名
千九百四十三年十一月九日署名ノ確定書ニヨリ修正

千九百四十三年九月三日締結セラルル一方全聯合國ノ利益ノ爲
行動スル今衆國及聯合王國政府ト他方伊太利政府トノ間ノ休戰條
約ノ結果伊太利ト聯合國ノ間ノ對行為ハ軍事の性質ノ諸條項ニ
基キ停止セラルルニヨリ
又右諸條項ノ外前記休戰條約ハ伊太利政府ハ後日傳達セラルルベキ
其他ノ政治的、經濟的及財政的性質ノ諸條件ヲ履行スルノ義務ヲ
有スト規定セルニヨリ
又軍事の性質ノ諸條項及上記政治的、經濟的、財政的性質ノ諸條
件ハ前述千九百四十五年九月三日ノ休戰條約ノ諸條項ノ效力存續
ニ影響ヲ及スコトナク新ニ別個ノ文書ニ包含セシメラルコト便
宜ナルニヨリ左記諸條項ヲ規定ス
左記諸條項及千九百四十三年九月三日ノ休戰條約ノ諸條項ニ基キ
聯合國ノ爲行動スル今衆國、聯合王國及「ソヴァイェート」政府ハ
其獨逸及獨逸ノ同盟國ニ對スル軍事行動ヲ阻害セフレズ且伊太利
カ右諸國ヲ絕對ニ援助セズ又前記三國政府ノ要求ヲ履行スル限リ
伊太利ニ對スル對行為ヲ停止スル用意アリ

發、ラ、ル、迄、通、信、ス、ベ、カ、ラ、ズ、伊、太、利、當、局、ハ、新、聞、其、他、ノ、出、版、物、
 演、劇、映、畫、ノ、興、行、放、送、其、他、聯、合、軍、總、司、令、官、ノ、命、令、ス、ベ、キ、一、切、
 ノ、通、信、機、關、ノ、檢、閲、及、管、理、ノ、爲、ノ、措、置、ニ、從、フ、ベ、シ、聯、合、軍、總、司、令、
 官、ハ、任、意、ニ、放、送、局、海、底、電、線、電、信、局、其、他、ノ、通、信、機、關、ヲ、接、收、ス、ベ、
 十、六、聯、合、軍、隊、ノ、作、戰、ニ、從、事、ス、ル、軍、艦、小、艇、艇、輪、船、兩、船、其、他、ノ、
 船、舶、及、航、空、機、ハ、伊、太、利、ノ、領、海、及、領、空、ニ、自、由、ニ、使、用、ス、ル、ノ、權、利、ヲ、
 有、ス、
 十、八、聯、合、軍、隊、ハ、伊、太、利、領、域、ノ、特、定、諸、地、域、ヲ、占、領、ス、ル、ト、シ、テ、要、求、
 ス、ベ、シ、
 占、領、セ、ラ、ル、ベ、キ、領、域、又、ハ、地、域、ハ、隨、時、聯、合、軍、總、司、令、官、ノ、命、令、ニ、
 從、テ、一、切、ノ、伊、太、利、陸、海、空、軍、兵、力、ハ、聯、合、軍、總、司、令、官、ノ、發、令、ニ、
 從、ヒ、右、領、域、又、ハ、地、域、ニ、檢、退、ス、ベ、シ、本、條、ノ、規、定、ハ、上、記、四、條、
 ノ、規、定、ニ、形、勢、ヲ、及、ボ、サ、ズ、伊、太、利、軍、總、司、令、官、ハ、伊、太、利、領、域、内、
 二、於、ケ、ル、其、管、理、下、ノ、一、切、ノ、飛、行、場、及、軍、港、ニ、對、シ、テ、聯、合、軍、隊、ノ、即、時、
 使、用、及、進、駐、ヲ、保、障、ス、ベ、シ、
 十、九、聯、合、軍、隊、ハ、特、定、諸、地、域、及、地、域、内、ニ、於、ケ、ル、一、切、ノ、陸、海、空、軍、ノ、施、
 設、發、電、所、精、油、工、場、公、益、專、業、施、設、全、港、一、切、ノ、運、輸、及、諸、
 種、施、設、ヲ、檢、査、裝、置、及、聯、合、軍、總、司、令、官、ノ、指、示、ス、ベ、キ、其、他、ノ、設、備、施、設、及、
 貯、藏、品、ハ、營、養、伊、太、利、官、憲、ニ、從、フ、其、運、送、ニ、必、要、ナ、ル、人、員、ト、共、ニ、提、

二、
 供、養、源、及、役、務、ヲ、供、給、ス、ベ、シ、伊、太、利、政、府、ハ、聯、合、軍、隊、ノ、要、求、ス、ベ、キ、其、他、ノ、地、方、的、
 資、源、及、役、務、ヲ、供、給、ス、ベ、シ、
 三、
 聯、合、軍、隊、總、司、令、官、ノ、管、理、下、ニ、其、職、務、ヲ、遂、行、ス、ベ、シ、
 政、府、ノ、宣、言、命、令、及、ハ、規、則、ノ、發、出、ニ、從、フ、規、定、セ、ラ、ル、ベ、シ、伊、太、利、
 政、府、ノ、宣、言、命、令、及、ハ、規、則、ノ、發、出、ニ、從、フ、規、定、セ、ラ、ル、ベ、シ、
 城、ノ、通、信、一、切、ノ、占、領、軍、ノ、權、利、ヲ、行、使、ス、ベ、シ、右、地、域、ニ、於、ケ、ル、軍、
 政、府、ノ、宣、言、命、令、及、ハ、規、則、ノ、發、出、ニ、從、フ、規、定、セ、ラ、ル、ベ、シ、
 聯、合、軍、隊、總、司、令、官、ノ、管、理、下、ニ、其、職、務、ヲ、遂、行、ス、ベ、シ、

廿一 第十八條及第廿條 定ムル 意大利領土領地ニ關スル權利以

外ニ 聯合國ノ陸海空軍所屬員及官吏ハ意大利非占領地域及其上空

ヲ通過スルノ權利ヲ有シ其職務遂行上必要ナル一切ノ便宜及

援助ヲ供與セラルヘシ

(四) 伊太利當局ハ意大利非占領地域ニ於テ聯合國ノ要求スヘキ戰

手資材及補給品ノ自由ナル通過ヲ許シ一切ノ輸送施設ヲ提供

シ、飛行場、港灣、船舶、内國輸送機關、自動車、通信機關

定スヘキ燃料及電力供給及發電設備等ノ使用及管理ニ關シテ

ハ聯合國總司令官ノ發令ニ從フヘシ

廿二 伊太利政府及國民ハ聯合國ノ利益ヲ害スヘキ一切ノ行動ヲ差

控ヘ聯合國ノ發令ヲ迅速且効果的ニ履行スヘシ

廿三 伊太利政府ハ聯合國ノ指定スヘキ期限内ニ且其指示スヘキ條

伊太利領土領地ニ於ケル作戦又ハ占領ノ期間内ニ發行セル通貨ノ

ニヨリ聯合國力軍的作戦又ハ占領ノ期間内ニ發行セル通貨ノ

伊太利領土領地ニ於ケル全保有額ヲ伊太利通貨ヲ以テ補償スルコ

トニヨリ回收シ右回收セラレタル通貨ハ伊太利領土領地内ニ於ケル

銀行及取引ノ管理、外國爲替及對外商業金融取引ノ管理並ニ商

廿四 其業及生業ノ統制ニ關シ聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

業及生業ノ統制ニ關シ聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

廿五 上領土領地ニ關シ聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

廿六 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

廿七 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

廿八 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

廿九 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十一 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十二 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十三 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十四 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十五 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十六 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十七 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十八 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

三十九 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十一 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十二 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十三 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十四 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十五 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十六 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十七 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十八 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

四十九 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

五十 聯合國ハ必要ナル命令ヲ發シ其

テ爾令聯合軍司令部又ハ伊太利政府管理下ノ領域ニアルモノハ
 即時之ヲ逮捕シ聯合國ニ引渡スヘシ聯合國ノ此目的ヲ以テ發ス
 即命令ハ全テ之ヲ履行スヘシ
 廿九
 一、一切ノ「M.V.B.M」、祕密警察隊
 V.B.A、其一ノ「V.S.M」、青少年團ノ全組
 織ヲ全「V.S.M」ノ命令ニ從ヒテ解散セラルヘシ伊太利政府ハ
 聯合軍司令部ノ命令ニ從ヒテ解散セラルヘシ伊太利政府ハ
 フアシスト「刺客」ノ管理、フアシスト「刺客」ノ管理
 ノ爲ニ聯合國ノ將來ノ管理ニヘキ命令ヲ履行スヘシ

廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ
 廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ
 廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ
 廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ
 廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ
 廿九
 一、其主與ナル「フアシスト」黨同志
 並聯合國ノ通告表中ノ一切ノ戰爭犯罪及其類以犯罪嫌疑者ニシ

一、人種、髪色、信條及政見ヲ理由トスル差別待遇ヲ規定スル
 一切ノ伊太利法制ニシテ未ダ廢止セラレザルモノハ之ヲ廢止ス
 ベク右ノ理由トシテ拘禁セラレ居ル者ハ聯合國ノ指令ニ從ヒ釋
 放セラレ其受ケタル法律上ノ無能力ヨリ回復セシメラルベシ伊
 太利政府ハ一ツアシスト一法制ノ廢止及右法制ニ基ク資格剝奪
 又ハ禁止ノ除去ノ爲ニ聯合軍最高司令官ノ發スル命令ヲ履行ス
 ベシ
 二、(1) 聯合國ニ所屬シ又ハ其指定スル俘虜及「アビシニヤ」國
 民ヲ含ム聯合國國民ニシテ伊太利又ハ伊太利軍占領地ニ於テ
 監禁、抑留又ハ其他ノ彼東處分ヲ受ケ居ルモノハ之ヲ撤退セシ
 ムルコトナク即時聯合國代表者ニ引渡シ又ハ聯合國ノ命令ニ從
 ヒ處置セララルベシ本國代表者ノ署名ノ時ヨリ引渡ニ至ル間ノ俘虜ノ
 移轉ハ本國書ノ條項ヲ侵犯スルモノト見做サルベシ
 (2) 國籍ノ如何ヲ問ハス聯合國トノ取引又ハ聯合國ニ對スル共鳴
 ヲ理由トシテ檢束、抑留又ハ有罪判決一缺席判決ヲ含ム一ヲ受ケタル
 モノハ聯合國ノ命令ニヨリ釋放セララルベク其受ケタル法律上ノ
 無能力ヨリ回復セシメラルベシ
 (3) 伊太利政府ハ外國人ノ身体及財産、外國政府及國民ノ財産ヲ
 保護スル爲ニ聯合國ノ命令ニ從ヒ措置ヲ採ルベシ
 三、(1) 伊太利政府ハ本國書ノ(有效)期間内ニ賠償トシテ聯合

一、人種、髪色、信條及政見ヲ理由トスル差別待遇ヲ規定スル
 一切ノ伊太利法制ニシテ未ダ廢止セラレザルモノハ之ヲ廢止ス
 ベク右ノ理由トシテ拘禁セラレ居ル者ハ聯合國ノ指令ニ從ヒ釋
 放セラレ其受ケタル法律上ノ無能力ヨリ回復セシメラルベシ伊
 太利政府ハ一ツアシスト一法制ノ廢止及右法制ニ基ク資格剝奪
 又ハ禁止ノ除去ノ爲ニ聯合軍最高司令官ノ發スル命令ヲ履行ス
 ベシ
 二、(1) 聯合國ニ所屬シ又ハ其指定スル俘虜及「アビシニヤ」國
 民ヲ含ム聯合國國民ニシテ伊太利又ハ伊太利軍占領地ニ於テ
 監禁、抑留又ハ其他ノ彼東處分ヲ受ケ居ルモノハ之ヲ撤退セシ
 ムルコトナク即時聯合國代表者ニ引渡シ又ハ聯合國ノ命令ニ從
 ヒ處置セララルベシ本國代表者ノ署名ノ時ヨリ引渡ニ至ル間ノ俘虜ノ
 移轉ハ本國書ノ條項ヲ侵犯スルモノト見做サルベシ
 (2) 國籍ノ如何ヲ問ハス聯合國トノ取引又ハ聯合國ニ對スル共鳴
 ヲ理由トシテ檢束、抑留又ハ有罪判決一缺席判決ヲ含ム一ヲ受ケタル
 モノハ聯合國ノ命令ニヨリ釋放セララルベク其受ケタル法律上ノ
 無能力ヨリ回復セシメラルベシ
 (3) 伊太利政府ハ外國人ノ身体及財産、外國政府及國民ノ財産ヲ
 保護スル爲ニ聯合國ノ命令ニ從ヒ措置ヲ採ルベシ
 三、(1) 伊太利政府ハ本國書ノ(有效)期間内ニ賠償トシテ聯合

合軍總司令官ノ指名スベキ其他ノ將校及代表者ヲ包含ス
 廿九、本文書ニ於テ「伊太利陸海軍兵力」ト稱スルハ「ア
 一、黨國軍及聯合軍總司令官ノ指定スベキ其他一切ノ軍事
 學軍學の編成組織及團體ヲ包含スルモノト認メラルベシ
 四十、本文書ニ於テ「戰争資材」ト稱ズルハ管理委員會ノ隨時發
 スルコトアルベキ目錄及定義ニ於テ指定セララルベキ一切ノ資材
 ヲ指稱ス
 四十一、「伊太利領域」ト稱スルハ一切ノ伊太利植民地及屬領ヲ
 包含シ、本文書ノ目的ノ爲「アビシニヤ」一但主權ノ問題ニ影
 響ヲ及ボサザルモノトス「ア」モ含ムモノト解セラルベシ但聯合
 國ノ命令スベキ場合及範圍ヲ除キ本文書ノ諸條項ハ既ニ聯合
 國ノ占領セル伊太利植民地及屬領ノ施政、又ハ右地域ニ於テ聯合
 國ノ現ニ享有シ且行使スル權利及權力ニ影響ヲ及ボサザルモノ
 トス
 四十二、伊太利政府ハ伊太利ノ利益ヲ代表シ且管理委員會ノ命令
 ヲ當該伊太利官憲ニ傳達スベキ代表團ヲ管理委員會ニ派遣スベ
 シ
 四十三、本文書ハ即時効力ヲ發生シ且取極ニヨリ廢棄セララル
 カ又ハ伊太利トノ平和條約ノ効力發生ニ至ル迄其効力ヲ存續ス
 ベシ

四十四、本文書ニ規定セラレタル伊太利ノ義務ノ履行セラレザル
 場合ニ於テハ聯合國ハ即時其廢棄ヲ宣言スルカ乃至ハ聯合國ハ
 本文書ノ違反ニ對シ軍事占領地域又ハ空域ノ擴張其他ノ懲罰的
 行動ノ如キ時宜ニ適セル措置ニヨリ本文書ノ侵犯ニ對シ刑罰ヲ
 加フベシ
 本文書ハ英伊兩國語ヲ以テ作成セラレ英文ヲ以テ信憑力アルモノ
 ト認メ解釋上ノ疑義ヲ存スル場合ニ於テハ管理委員會ノ決定ニ依
 ルベキモノトス
 千九百四十三年九月二十九日「マルター」島ニ於テ署名
 ビエトロ・バドリオ元帥 伊太利政府主席
 ドワイト・デイ・アイゼンハワー元帥 聯合軍總司令官

(其二) 休戦條約文書ノ署名ニ就ク「アイゼンハワー」大將ヲ

「バドリオ」元帥ニ宛テタル書翰 千九百四十三年九月二十九日

拜啓 吾々兩人カ現ニ署名ヲ付シタル休戦條約ハ千九百四十三年九月二
日閣下ノ代表者ト予ノ代表者ノ間ニ署名セラルル簡略ナル軍事
的休戦條約ヲ補足スルモノナリ右ノ敵對行為停止以前ニ存在セ
状態ヲ基礎トセルモ爾後ノ發展ハ伊太利カ國トノ協力國トナ
リタルコトニヨリ伊太利ノ地位ニ重大ナル變更ヲ應ゼリ
予ノ代表スル國政府ハ右軍事的休戦條約ノ諸條項カ其後ノ事
應ニヨリ甲分の二廢棄セラレ又其數ヶ條ハ效力ヲ喪失セルカ乃至
ハ既ニ實行セラルルコトヲ充分ニ認識ス吾人ハ更ニ伊太利政府
カ現在右軍事的休戦條約ノ特定條項ヲ履行シ得ルノ地位ニ非ザル
ヲ認メ現在ノ事態ヨリ生ズル記不履行ハ伊太利政府ニ於テ實行可能
ノ違背ト見做サザルベキモ本文書ハ伊太利政府ニ於テ實行可能
ナル場合履行スベキコトヲ期待セフルル伊太利ニ對スル要求ヲ規
定セルモノナリ
本文書ノ條項及九月三日ノ簡略ナル軍事的休戦條約ノ條項ハ軍事
的必須上又ハ伊太利ノ協力ノ程度ヨリ其修正カ望マシモノト認
ムラルル場合ニ於テハ隨時修正セラルベシ

「ドワイト・デイ・アイゼンハワー」

米國陸軍大將兼聯合軍總司令官

伊太利政府主席
「ピエトロ・バドリオ」元帥 閣下

(其四) 伊太利海軍及商船隊ノ使用及噸分ニ關スル、聯合軍總司令官ノ代表スル聯合軍地中海方面海軍總司令官ト伊太利海軍大臣トノ間ノ協定電書
 千九百四十三年九月廿七日 署名
 「カマンガム」 「ドクローラン」 協定ノ譯文ノ之ヲ省略ス

(其五) 伊太利海軍ノ使用ニ關スル協定ニ對スル附補
 千九百四十三年十一月七日 署名
 (譯文ノ之ヲ省略ス)